



「命を守る弁護士」

衆議院東京16区総支部長  
**柴田 かつゆき**



しばかつ通信 第011号(2024.9.12改訂)  
後援会員募集中!

# 立憲代表選と自民総裁選

— 政権選択！衆院選であなたが選ぶのは立憲？自民？ —

## 【立憲民主党代表選】

立憲民主党の代表選挙が9月7日告示で始まり、9月23日投開票。

野田佳彦(元首相)、枝野幸男(前代表)、泉健太(現代表)、吉田はるみ各衆議院議員が立候補しています。

告示直後の討論会で、野田氏は「**政権交代こそ最大の政治改革**」、枝野氏は「**ヒューマンエコノミクス(人間中心の経済)**」、泉氏は「**立憲民主で『日本を伸ばす』**」、吉田氏は「**教育×経済＝国民生活の底上げ**」をメインテーマとして掲げました。

- ・自民党と一部の企業等が癒着して利益を得る「**利権政治**」を終わらせるための「**企業・団体献金の廃止**」
- ・使い道が明らかにされない「**政策活動費の廃止**」
- ・低所得層の消費税負担を軽減する「**給付つき税額控除**」または「**食料品の消費税率引き下げ**」
- ・結婚の際に夫婦とも名字を変えない別姓も選べる「**選択的夫婦別姓**」
- ・再エネ、省エネ等により**原子力発電所に依存しない社会**を作る

などの重要政策は4候補とも共通しており、私は各候補が政権交代への戦略をどのように描くのか注目しています。

野田 佳彦 枝野 幸男 泉 健太 吉田 はるみ

立憲民主党  
The Constitutional Democratic Party of Japan

代表選挙

9.7 告示 9.23 臨時党大会

代表選特設サイト  
各候補者の政策、関連ニュース、スケジュールをご覧ください。

## 【自民党総裁選】

自民党の総裁選挙は立憲代表選より少し遅く、9月12日告示、9月27日投開票となっています。

小林鷹之、石破茂、河野太郎、林芳正、茂木敏充、小泉進次郎、高市早苗、加藤勝信、上川陽子の9氏が立候補しています。

## 【各候補の相違点】

9候補が発表した政策のうち主な相違点は、

- ・石破氏は、「**裏金議員**」の選挙での**非公認**を検討すべきこと、河野氏・加藤氏は**裏金の額を国庫に返納**すべきことを主張
- ・小林氏・茂木氏・小泉氏・高市氏は、使い道が明らかにされない「**政策活動費の廃止**」を主張
- ・林氏は、「**政治資金を監査する独立行政機関**」の設置を主張
- ・石破氏・林氏は、今年12月の**健康保険証廃止(マイナンバーカードとの一本化)の延期**を検討すべきと主張
- ・石破氏は、高額所得者への**金融所得課税の強化(「1億円の壁」の解消)**を主張
- ・石破氏・河野氏・小泉氏は、「**選択的夫婦別姓**」の導入を主張
- ・石破氏は、「**原発ゼロ**」の早期実現を主張(ちなみに河野氏は、長年主張していた「**原発ゼロ**」を撤回)
- ・茂木氏は、「**防衛増税などの中止**」を主張

これらはいずれも立憲民主党が従来から主張していた方向の政策ですが、今まで自民党が取り上げようとしてこなかったもので、自民党政権のままで本当に実現できるのか疑問です。

- ・高市氏は、非核三原則(核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」)のうち「持ち込ませず」を見直し、**日本国内への核兵器持ち込み**を可能とすることを主張
- ・河野氏は、マイナンバーによるデジタル化を前提に、会社員などの年末調整を廃止して、**すべての国民が所得税の確定申告**をする制度を主張
- ・小泉氏・河野氏は、正社員の解雇に客観的合理性と社会的相当性を必要とする現行の解雇規制を緩和し、**金銭支払により解雇**できるようにすることを主張
- ・小泉氏は、「106万円の壁」解消のためとして、**年収106万円以下の労働者も厚生年金に原則全員加入(年金保険料の分だけ手取りは減少)**させることを主張
- ・小泉氏は、**ライドシェアの全面解禁**を主張

これらの政策は、従来の自民党政権による軍備増強、性急なデジタル化、新自由主義などをさらに進めようとするもので、どれも賛成できません。

#### [各候補の共通点]

9名の候補が全員主張しているのが、憲法に**自衛隊の存在を明記する憲法改正の早期実現**です。

しかし、万が一日本が武力侵攻を受けた場合に国民の生命・財産を守る自衛隊の存在が合憲であることは、従来から認められており、対処すべき課題が山積のなか、国民投票など多大な労力と費用を要する**憲法改正をいま行わなければならない必要性はありません**。

また、政治家と企業等の癒着を防止する根本的な対策である「**企業・団体献金の廃止**」「**政治資金パーティーの禁止**」は9候補の誰も主張していません。このことから、**自民党政権が続く限り、利権政治は終わらない**ことが明確になっています。

自民党総裁選挙の後は早期に衆議院解散・総選挙になると予想されます。皆様には是非、**立憲民主党代表候補4名と自民党総裁候補9名をよく見比べて、誰が総理大臣にふさわしいか**、ご検討いただくようお願いいたします。

### 後援会員募集中！！

「柴田かつゆき後援会」では会員を大募集中です！  
会費は無料、柴田かつゆきを応援したい、と思っ  
てくださる方でしたら、年齢・住所・国籍等問わずど  
なたでも入会可能です。

9/21(土)には懇親会を開催します！

お申込みは [office.kshibata@gmail.com](mailto:office.kshibata@gmail.com)

または電話 050-8886-1651 まで！

柴田かつゆき事務所 公認キャラクター  
しばかつくん



### 柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ 開成高校・東京大学法学部卒業 弁護士

元：司法研修所教官、第二東京弁護士会副会長、森・濱田松本法律事務所パートナー  
座右の銘：不貪不瞋不痴（みんなのために、明るく、頑張る）、実力も運のうち

### 編集後記 事務所スタッフの「独り言」

気が付けば、夜は蝉の鳴き声から鈴虫の鳴き声へと変わり、すっかり秋めいてきました。そんな今年の秋は選挙イベントが目白押しですね。

最近では、学校の生徒会選挙も昔とは見違えるような盛り上がりを見せています。私が勤めていた学校では、「学校の自販機で交通系ICカードを使えるようにする」「スマホの学内利用解禁」などを公約に掲げ、ポスター掲示や昼休みのPR動画放映を行っていました。教員としても、自販機が現金のみは面倒だ、なんて思っていましたので、ひそかに生徒たちに期待していたことを思い出します。

あの頃に「本当の選挙に行ってみたい！」と目を輝かせていた子どもたちも、もう有権者。本当の選挙に行ってみてくれたかな？と毎回選挙があるたびに想いを馳せてしまいます。 スタッフK

### SNS更新中！

QRコードよりチェック！



### 柴田かつゆき事務所

〒134-0091 東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション604  
電話：050-8886-1651 FAX：050-3488-7290 メール：[office.kshibata@gmail.com](mailto:office.kshibata@gmail.com)